



干潮時



満潮時

潮の満ち引き

潮の干満（かんまん）は、月と太陽の引力によって起こります。日に2回ずつ干潮と満潮があり、旧暦の1日と15日には、お昼近くが干潮で、夕方に満潮になります。たいていの潮見表の干満の時刻は、那覇市が観測地となっている場合が多いらしく、地域によって干満の時刻にはズレがあります。

太平洋側から早く潮は満ちてくるので、それを念頭に潮の干満を考えなくてははいけません。

干潟で生き物観察を行ったり、潮干狩りなどをする際には、干潮時に行い、潮が満ちはじめたら、岸の方へと移動するよう注意が必要です。

潮干狩りなどで夢中になると、今いる場所が海であることがしばしば頭から忘れてしまいます。

満ちてくると、潮の早さは結構速いので、パニックになり、溺れる危険があります。

海底の地形はさまざまですので、歩いてきた地形がどんな感じであったかも記憶していると、そのようにパニックになることはありません。